

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 2 rows and 7 columns: 事業コード, 12, 事業名, 広域連携の実行支援, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会; 担当部署, 商工会支援部, 担当課名, 南部支援センター, 担当課長名, 渡邊由香, 施策コード, 6, 施策名, 商工会間の広域連携の推進

【事業内容】

Table with 4 rows: 1. 事業実施当初の背景 (地域内事業者及び会員の減少に加え、商工会職員設置数の減も伴い、同一事業の共同実施や、地域資源の活用などテーマ別の事業連携、小規模商工会と近隣商工会の組織連携など、地域を超えた商工会間の広域連携による事業展開についての検討と実施が必要となった。); 2. 事業のねらい (商工会の限られた経営資源を有効に活用し、スケールメリットを活かした効果的・効率的な事業展開を図るとともに個社支援に集中できる環境を整えるため、広域連携を推進し、事業者に対し質の高いサービスを提供する。); 3. これまでの評価結果 (過年度 H29 - H30 H31 H32); 4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 4 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 25 (広域連携の実行支援) and 26 (広域連携の推進).

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 3 main columns: 取組コード, 取組, 取組コード, 取組, 取組コード, 取組. Rows include 26 (広域連携事業提案件数) and 26 (組織運営に関する広域連携提案件数).

【事業評価】

Table with 4 rows: 1. 3つの観点からの評価 (必要性, 有効性, 効率性の観点); 2. 総合評価・理由 (A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合); 3. 課題 (ガイドラインの提示により、取組意識が形成されたもののセミナー等への参画呼びかけレベルとなっており、ガイドラインに沿った推進体制の構築が必要である。); 4. 今後の対応方針(改善点) (地域別連携テーマの具体案について、当該商工会の協議・調整・実行支援を行っていく。)